

米国の個人トラック制度

OWNER OPERATOR SYSTEM

現地取材体験日誌

▶14

ロジタント 吉田 祐起



オーナーオペレーター

「オーナーオペレーター」は、米国のトラック業界で最も盛んな制度で、トラックの所有者が同時に運転手として働くシステムを指す。この制度は、トラックの運用効率を高め、運転手の収入を安定させる効果がある。また、トラックのメンテナンスや修理も自分で担当するため、コスト削減にもつながる。この制度は、米国のトラック業界の発展に大きく貢献している。

さすがが実力主義の国 会社よりも人望優先

米国のトラック業界は、実力主義の国である。ここでは、会社よりも個人の能力や人望が重視される。オーナーオペレーター制度は、この実力主義の表れである。トラックの運用効率を高め、収入を安定させるためには、個人の能力と人望が不可欠である。また、トラックのメンテナンスや修理も自分で担当するため、コスト削減にもつながる。この制度は、米国のトラック業界の発展に大きく貢献している。



米国のトラック業界は、実力主義の国である。ここでは、会社よりも個人の能力や人望が重視される。オーナーオペレーター制度は、この実力主義の表れである。トラックの運用効率を高め、収入を安定させるためには、個人の能力と人望が不可欠である。また、トラックのメンテナンスや修理も自分で担当するため、コスト削減にもつながる。この制度は、米国のトラック業界の発展に大きく貢献している。

帰国後の

米国のトラック業界は、実力主義の国である。ここでは、会社よりも個人の能力や人望が重視される。オーナーオペレーター制度は、この実力主義の表れである。トラックの運用効率を高め、収入を安定させるためには、個人の能力と人望が不可欠である。また、トラックのメンテナンスや修理も自分で担当するため、コスト削減にもつながる。この制度は、米国のトラック業界の発展に大きく貢献している。

協会財政は事業収入で 会員教育や経営情報を提供

協会教育や経営情報を提供

米国のトラック協会（ATA）は、会員の教育や経営情報を提供するために、事業収入を確保している。この収入は、会員の研修やセミナー、経営情報誌の発行などに充てられている。また、協会は、会員の利益を守るために、政府との交渉や業界の規制への対応にも力を入れている。このように、米国のトラック協会は、会員の利益を守るために、積極的に事業収入を確保している。

今後とも日、米トラック協会は密接な連絡を

日米トラック協会の関係は、今後とも密接な連絡を維持していくことが重要である。両国間の貿易の拡大に伴って、トラック業界の連携もますます重要になる。日米トラック協会は、お互いの業界の動向を把握し、協力関係を築いていく必要がある。また、両国間の規制の違いや文化の違いを克服し、互いの利益を守るための努力も必要である。日米トラック協会の関係は、今後とも密接な連絡を維持していくことが重要である。